



心豊かに育ちあう

沢の子

令和8年度 重点目標

“いつでも考え学びあう、
笑顔あふれる”
子どもの育成

余市町立沢町小学校 令和8年8月31日(月) 第5号

目的意識を持って充実した二学期を

校長 葛西 統実

青い空に白い雲が映え、朝夕には心地よい風が吹き抜ける季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかな夏休みをお過ごしだったことと存じます。

さて、8月24日(月)から二学期がスタートしました。元気に登校してきた子どもたちの笑顔や、一回り大きくなってきた姿を見て、教職員一同、大変嬉しく、また心強く感じております。夏休み期間中、大きな事故や怪我の報告もなく無事に始業式を迎えられましたことは、ひとえに保護者・地域の皆様の温かい見守りとご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

一学期の終業式の日、子どもたちに「夏休みには、安全に気をつけ、めあてを持って普段できないような新しいことに挑戦したり、感謝の気持ちを表す行動としてお手伝いを頑張ったりしましょう」とお話ししました。きっと子どもたち一人ひとりが、それぞれの場所でたくさんの経験を積んできたことと思います。二学期の始業式では、子どもたちに次のような話をしました。

ある旅人が、道を歩いていると、一人のレンガ職人がレンガを積んでいるところに出会いました。旅人が、「あなたは、何をしているのですか？」と尋ねると、レンガ職人は、「見ればわかるだろう。親方の指示で、レンガを積んでいるのさ。」と答えました。

旅人が歩いていくと、別のレンガ職人に出会いました。

また、「何をしているのですか？」と尋ねると、二人目のレンガ職人は、「レンガを積んで大きな壁を作っているんだよ。家族を養うためにね。」と答えました。

旅人がさらに歩いて行くと、また別のレンガ職人に出会いました。

また、「何をしているのですか？」と尋ねると、三人目のレンガ職人は、「レンガを積んで、歴史に残る偉大な教会を創っているんだ。ここに皆が集まり、多くの人がよろこび幸せになるんだ！素晴らしいだろう！」と目を輝かせながら答えました。

同じ事をしても目的を持つか持たないかで感じ方や結果が変わってきます。

皆さんも、目的や目標を持って二学期の学校生活を充実させて欲しいと思います。

子供たちには、二学期の学校生活を充実したものにするために、ぜひ、二学期の自分の目標やクラスの目標を持って過ごして欲しいと思います。また、宿泊学習や見学旅行、学習発表会等、それぞれの行事についても目的や目標を持って臨んで欲しいと思います。

めあてをもった行事の取組や毎日の学習を通して、子どもたちは「できた」「分かった」という達成感だけでなく、「友達と協力する楽しさ」「思いやりの心」「くじけずにやり抜く粘り強さ」を育んでいきます。時には壁にぶつかることもあるかもしれませんが、そんな時こそ、お互いに支え合い、成長できる絶好の機会だと考えます。

私たち教職員も、子どもたち一人ひとりの良さや可能性を見つけ、自己肯定感を高められるよう、全力で寄り添い、指導・支援にあたってまいります。

子どもたちが笑顔あふれる充実した学校生活を送れるよう、二学期も引き続き、保護者の皆様と地域の皆様の温かいご理解とご支援、そして学校へのご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。